

# 袋井市でも来年度から認証保育制度・早期療育支援実施へ

## 12月14日民生福祉委員会

私が6月議会で一般質問し早期の開設を求めた早期療育施設について、当面のつなぎ施設ではありますが開設の計画が報告されました。内容は、新施設建設で4月から移転する山梨幼稚園の現施設を暫定的に使用し、平成22年度から「親子教室」「並行通園」の早期療育と、「相談支援」をするというものです。早期療育の重要性がいわれながらこれまで袋井市は通所施設もなく行政の谷間におかれておりました。関係者からは強い要望が寄せられておりました。市の直営で行うという方針も、保健センターや保育園・幼稚園、子育て支援センター、教育委員会など各種組織による連携を深める上でも有効と考えます。正式には市議会の2月議会で予算や条例の可決など各種手続きも必要ですが、これから運営に重要な役割を果たす人材確保などや研修、施設整備など準備がすすめられます。

また、利用者が増え、利用回数に制限もあった児童デイサービス「そよかぜ」もあわせて現山梨幼稚園の園舎を利用し増設となります。

## 12月22日議会閉会日

議会閉会後の全員協議会で4月から実施予定の認証保育所制度の内容が報告されました。袋井市にとって待機児童対策は喫緊の課題です。

既存保育園の定員増や愛野地区に幼保園、北地区に新保育園建設準備が進められていますが、早急な解消には程遠い状況です。そこで打ち出されたのが保育ママ制度（すでに実施）と認証保育所制度です。市内には現在認可外保育施設が12園、270人余が入園しています。この認可外保育施設での保育水準向上と保護者負担の軽減を図るのがこの制度の目的です。

いくつかの認証基準を設け、それをクリアできている施設に運営費補助金と、保育料の補助金を交付します。4月から実施される予定です。

今、規制緩和の流れで保育所の最低基準が引

き下げられようとしており、その中で出てきたのがこの制度で、すでに東京都などが実施しています。認可、無認可問わず市として支援は当然ですが、保育環境を整えるうえで「本来は認可保育施設の拡充を進めるべきで、この制度の実施はあくまで応急の施策であり、これによって公の責任が免れるものではない。」と私は指摘しました。

## 袋井市も事業仕分け実施

民主党政権になって予算の査定を行う事業仕分けが公開で行われ関心呼びました。袋井市でも、今回原田市長の強い思い入れによって急ぎ実施することになりました。袋井市では「事務事業の点検」として、ハード事業、庶務的な事務を除いた市の裁量性の高いソフト事業を対象として選別、結果40件（53事業）が上がっています。市の行政委員会や各種団体の代表者などの市民代表や行政改革推進委員などが審査にあたります。市はあくまでも市民の意見を聞く場で、それによって可否を決めるのではないとしています。1月9日、10日、総合センターを会場に開かれます。私は多くの疑問もありますが、関心を持って見守りたいと思います。

## 高橋よしひろの議会活動通信

2009年12月24日号

袋井市大谷245 TEL・FAX(48)6100  
E-mail:wbs35910@mail.wbs.ne.jp  
http://www.yoshihiro-takahashi.net  
御気軽にアクセスしてください。